

平成24年度 春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成24年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成24年11月20日(火)にメルパルク大阪において開催された。

この検討会には、試験場関係者20名、委託関係者60名ほか、計88名の参集を得て、除草剤26薬剤(182点)、

生育調節剤1薬剤(3点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成24年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容			
1. BAH-0902 マイコナ ブセル ベンゾイリゾリン:38.7% [BASFジャパン]	ベレブ ライグラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい	実・継 従 来 ど お り	[春夏作:コライシバ、ノシバ、パームータグラス]一年生雑草 (ネ科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.5~0.7mL<200~300mL/>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作:クンタキープ、ルータス]一年生雑草(ネ科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.4~0.6mL<200~300mL/>/㎡ ・ 土壌処理			
				対象 雑草			雑草発生前 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(ネ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -		
				設計 薬量 <水量> /㎡			土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 対) パイ-水和剤 芝生育期・雑草発生前 0.075g <200-300mL>		
				適用性 新規			札幌国際CC 埼玉スタジアム2002 静岡G場協会 (3)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(ネ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -
				設計 薬量 <水量> /㎡			土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 対) パイ-水和剤 芝生育期・雑草発生前 0.075g <200-300mL>		
コライシ バ、ノシ バ	実証試験 継続	福島石川CC J福岡 (2)	ねらい	実証試験 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(ネ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -	雑 ・ 効果、薬害の確認 (ベレブライグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ、パームータグラス、クンタキープ、ルータス) ・ 連用試験での確認 (コライシバ、ノシバ、パームータグラス、クンタキープ、ルータス) ・ 実証試験での確認 (パームータグラス、クンタキープ、ルータス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コライシバ、ノシバ、パームータグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コライシバ、ノシバ、パームータグラス、クンタキープ、ルータス) ・ 緑化木への影響の確認				
設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200-300mL>								
クンタキ ープ、ル ータス	実証試験 継続	クンタキープ、ルータスGC 東日本G研 (2)	ねらい	実証試験 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(ネ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -					
設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.5mL <200-300mL>								
パーム ータグ ラス	実証試験 新規	新中国G研 J福岡 (2)	ねらい	実証試験 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(ネ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -					
設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200-300mL>								

A. 除草剤

注) フタゴラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	判定	判定内容
2. BAH-1004 液 ベンゾアゾ:44%(w/w) [BASP]ヤハン]	日本芝	作用性 新規	東日本G研 植調研	ねらい (2)	運用処理(3回処理) 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期 0.5mL×3 <200mL> 0.75mL×3 <200mL> 1mL×3 <200mL> 比) BAH-1004 液剤 雑草生育期 1mL <200mL>	実・継 従 来 ど お り	実) [春夏作;(コウライシバ、ジシバ)一年生広葉雑草(マ科を除く)、ヒメジョオン] ・芝生育期、雑草生育期 ・0.5~1.0mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 継) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ジシバ) ・運用試験での確認 (コウライシバ、ジシバ) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ジシバ) ・高温期薬害の確認 (コウライシバ、ジシバ) ・緑化木への影響の確認
	芝	緑化木 影響試験 新規	東日本G研 新中国G研	ねらい (2)	緑化木影響試験 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌および茎葉処理 緑化木生育期 茎葉処理 1mL <100-200mL> 樹冠下処理 2mL <100-200mL>		
3. BEH-447 フロアフル インダジフル:2.2% [ハニエロップ]キエンス]	ハニエロップ	適用性 継続	静岡G場協会 関西G研 新中国G研 西日本G研	ねらい (4)	雑草発生前 対象 雑草 一年生(併) 全般(ヒシバ等) 一年生広葉 全般(ヤブズミ、イヌノシロ、イヌノシロ科・キリ科等) 多年生(併) - 多年生広葉 シロリナ、オオバコ、カタバミ等 その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.15mL <100-200mL> 0.2mL <100-200mL> 0.25mL <100-200mL> 対) モノファクト顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <150-250mL>	実・継	実) [春夏作;(コウライシバ、ジシバ)一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草生育期 ・0.2~0.25mL <100~150mL>/㎡ ・茎葉処理 [春夏作;(ハニエロップ)一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草生育期 ・0.15~0.25mL <100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 継) ・効果・薬害の確認 (ハニエロップ) ・低薬量(0.15mL)での効果の確認 (コウライシバ、ジシバ) ・運用試験での確認 (コウライシバ、ジシバ、ハニエロップ) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ジシバ、ハニエロップ) ・萌芽期薬害の確認 (コウライシバ、ジシバ、ハニエロップ) ・高温期薬害の確認 (コウライシバ、ジシバ、ハニエロップ) ・効果の確認された草種 ヒシバ、オオバコ、カタバミ、ヒメジョオン、コシキリ、トキソウ、ヤブズミ、シロリナ、イヌノシロ、イヌノシロ科、キリ科等、オオバコ、カタバミ
	※H21年度秋冬まで 20%表記→中央値管理 のため変更 [ハニエロップ]キエンス]	適用性 新規	静岡G場協会 関西G研 新中国G研 J福岡	ねらい (4)	雑草発生前 対象 雑草 一年生(併) 全般(ヒシバ等) 一年生広葉 全般(ヤブズミ、イヌノシロ、イヌノシロ科・キリ科等) 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.02mL <200~300mL> 0.025mL <200~300mL> 0.03mL <200~300mL> 対) ハニエロップ 芝生育期・雑草発生前 0.15mL <200~300mL>	実・継 従 来 ど お り	実) [春夏作;(コウライシバ、ジシバ)一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.02~0.03mL <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・効果・薬害の確認 (ハニエロップ) ・運用試験での確認 (コウライシバ、ジシバ、ハニエロップ) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ジシバ)
4. BEH-507 フロアフル インダジフル:19.1% [ハニエロップ]キエンス]	ハニエロップ	倍量薬害 新規	関西G研 新中国G研	ねらい (2)	倍量薬害 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.03mL <200mL> 0.06mL <400mL> 0.12mL <800mL>		
	ハニエロップ	適用薬害 継続	関西G研 新中国G研	ねらい (2)	運用薬害(2回目) 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.03mL <200~300mL>		

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
5. CH-900 フェンピロキシメート 含有率:40% 【委託者】 [エス・エー・エム・パティ テック]	コウライハ	適用性 新規	東日本G研 かごしま空港CC (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメツグ 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 ヒメツグ 発生前～発生初期 0.25mL→0.25mL(2回処理) <200～300mL> 0.375mL→0.375mL(2回処理) <200～300mL> 0.5mL→0.5mL(2回処理) <200～300mL> ※) シバヅツ乳剤乳剤 芝生育期 ヒメツグ 発生前～発生初期 0.3mL→0.3mL(2回処理) <200mL～300mL>	実・継 従 来 ど お り	実) [コウライハ、シバ] 一年生(併雑草) ・芝生育期、雑草発生前 ・0.25～0.5g <200～300mL>/㎡ ・土壌処理 (継) ・実証試験での確認 ・2回処理でのヒメツグに対する効果の確認(コウライハ)
6. DAH-502 水和 シクロプロピタール 含有率:2% 【タケノコジャパン】	ハントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉散布 芝生育期 藻類発生始期 1.25g、2g、3g、4.5g <500mL> 比)コ-ット水和剤 芝生育期 藻類発生始期 2g <1000mL>	継	継) ・効果、薬害の確認(ハントグラス)
	ハントグ ラス	適用性 新規	太平洋C美野里C 関西G研 J福岡 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉散布 芝生育期 藻類発生始期 2g、3g、2→2g <500mL> 比)コ-ット水和剤 芝生育期 藻類発生始期 2→2g <1000mL>		
	ハントグ ラス	倍量薬害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉散布 芝生育期 藻類発生始期 3g <500mL> 6g <1000mL> 12g <2000mL>		
7. FWC-01 顆粒水和 メトラアゾリンメチル 含有率:40.0% 【エフエムシーケミカルズ】	ハントグ ラス	適用性 新規	福島石川CC 東日本G研 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 J福岡 (6)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 コケ類 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面茎葉散布 春期芝生育期(コケ生育期) 0.03g、0.06g <100-200mL> 0.03g×3回(10～14日間隔) <100-200mL> 0.06g×3回(10～14日間隔) <100-200mL> 対) タスDF 0.06g <100-200mL>	実・継	実) [春夏作; (ハントグラス)コケ類] ・芝生育期、コケ類生育期 ・0.03g<100～200mL>/㎡ ・茎葉処理(3回) ・0.06g<100～200mL>/㎡ ・茎葉処理(1～3回) ・展着剤加用 注) 2回目以降はコケの再生時に散布する (継) ・0.03g 1回処理の効果・薬害の確認(ハントグラス) ・0.03g 3回処理、0.06g1～3回処理の年次変動の確認 ・実証試験での確認(ハントグラス) ・連用薬害の確認(ハントグラス) ・高温期薬害の確認(ハントグラス)
	ハントグ ラス	倍量薬害 新規	関西G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面茎葉散布 春期芝生育期(コケ生育期) 0.06g <100mL> 0.12g <200mL> 0.24g <400mL>		

A. 除草剤

注) フタゴ-ラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい、試験設計等	判定	判定内容
8. GG-155 顆粒水和 イゾキサロン:75% 【住化ケイソ】	コライイハ	適用性 継続	植調研 新中国G研	ねらい 対象 雑草 (2) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) シバノハ40SC 芝生初期 雑草発生初期 0.1mL <200-300mL>	実・継	[春夏作: (コライイハ、ジバノハ) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・0.1～0.2g <200～300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 [春夏作: (コライイハ、ジバノハ) ヒメギク] ・芝生初期、雑草発生初期 ・0.1～0.2g <200～300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理
	ジバノハ	適用性 継続	植調研 新中国G研	ねらい 対象 雑草 (2) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) シバノハ40SC 芝生初期 雑草発生初期 0.1mL <200-300mL>	実・継	[春夏作: (コライイハ、ジバノハ) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・0.1～0.2g <200～300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 J福岡	ねらい 対象 雑草 (4) 一年生(併) - 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) シバノハ40SC 芝生初期 雑草発生前 0.03g <200-300mL>	実・継	[春夏作: (ベントグラス) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・0.1～0.2g <200～300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 継) ・雑草発生前、発生初期処理での効果、薬害の確認 (コライイハ、ジバノハ) ・ヒメギクに対する効果について年次変動の確認 (コライイハ、ジバノハ) ・ヒメギクに対する効果の確認 (ベントグラス) ・連用試験での確認 (コライイハ、ジバノハ、ベントグラス) ・実証試験での確認 (コライイハ、ジバノハ、ベントグラス) ・萌芽期薬害の確認 (コライイハ、ジバノハ) ・高温期薬害の確認 (ベントグラス) ・緑化木への影響の確認
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 J福岡	ねらい 対象 雑草 (4) 一年生(併) - 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) シバノハ40SC 芝生初期 雑草発生初期 0.1mL <200-300mL>	実・継	[春夏作: (コライイハ、ジバノハ、ベントグラス) ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・0.1～0.2g <200～300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理
	ベントグ ラス	倍量薬害 新規	東日本G研 新中国G研	ねらい 対象 雑草 (2) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.2g <200mL> 0.4g <400mL> 0.8g <800mL>	実・継	倍量薬害 ・高温度での処理はコライイハに薬害を生じることがある
9. GG-181 粒 イソキサロン:1.0% DBN:0.5% N:P:K:Mg=11:8:7:3 【保土谷フタゴケツク】	コライイハ	適用性 継続	福島石川CC 東日本G研 門司GC	ねらい 対象 雑草 (3) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 芝生初期、雑草発生初期 20g 30g 40g 対) ベンボ-粒剤 10g	実・継	[春夏作: (コライイハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スキナ] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 継) ・スキナに対する効果について年次変動の確認 (コライイハ) ・倍量薬害試験での確認 (コライイハ) ・連用試験での確認 (コライイハ) ・実証試験での確認 (コライイハ) ・緑化木への影響の確認
	コライイハ	適用性 継続	福島石川CC 東日本G研 門司GC	ねらい 対象 雑草 (3) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 芝生初期、雑草発生初期 20g 30g 40g 対) ベンボ-粒剤 10g	実・継	[春夏作: (コライイハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スキナ] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 注) ・高温期での処理はコライイハに薬害を生じることがある
10. GG-191 粒 イソキサロン:0.1% DBN:0.5% N:P:K:Mg=11:8:7:3 【保土谷フタゴケツク】	コライイハ	適用性 継続	福島石川CC 東日本G研 門司GC	ねらい 対象 雑草 (3) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 芝生初期、雑草発生初期 20g 30g 40g 対) ベンボ-粒剤 10g	実・継	[春夏作: (コライイハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スキナ] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 注) ・高温期での処理はコライイハに薬害を生じることがある
	コライイハ	適用性 継続	福島石川CC 東日本G研 門司GC	ねらい 対象 雑草 (3) 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 芝生初期、雑草発生初期 20g 30g 40g 対) ベンボ-粒剤 10g	実・継	[春夏作: (コライイハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スキナ] ・芝生初期、雑草発生前～初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 継) ・スキナに対する効果について年次変動の確認 (コライイハ) ・倍量薬害試験での確認 (コライイハ) ・連用試験での確認 (コライイハ) ・実証試験での確認 (コライイハ) ・緑化木への影響の確認

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
11. HAT-211 液 アゾホラム:0.1% MCPP-K:0.2% 【保土谷アグロテック】	コウライシ バ	適用性 新規	<福島石川CC> 東日本G研 門司GC (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 不明 設計 薬量 (水量) /㎡ 芝葉処理 芝生育期、雑草生育期 (草丈10cm以下) 100mL <希釈せずそのまま散布> 150mL <希釈せずそのまま散布> 200mL <希釈せずそのまま散布> 対) シバキープAL剤 100mL <希釈せずそのまま散布>	継	雑 ・効果、薬害の確認 (コウライシバ)
12. KUF-2301 水和 ベントグ ラス アゾホラム:4.25% メソプロパ:65.0% 【タキイ化学工業】	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 J福岡 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 蕨類 設計 薬量 (水量) /㎡ 芝葉処理 芝生育期 蕨類発生始期 3g <500mL> 蕨類発生始期→再増殖始又は14日後 3g→3g <500mL> 対) コーネット水和剤 ベントグラス生育期 蕨類発生始期 2.0g <500mL>	実・継	実) [春夏作; (ベントグ) 雑類] ・芝生育期、蕨類発生初期 ・3g <500mL>/㎡ ・茎葉処理(1~2回) 注) 2回目は蕨類の再生時に散布する。 雑) ・倍量試験での確認 (ベントグ) 雑類 ・連用試験での確認 (ベントグ) 雑類 ・実証試験での確認 (ベントグ) 雑類 ・高温期薬害の確認 (ベントグ) 雑類
13. KUH-114 顆粒 水和 フェキサメタゾール:75.0% 【タキイ化学工業 理研グループ】	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 J福岡 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任	実・継	実) [春夏作; (コウライシバ、シバ) 一年生(併) 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.15~0.3g <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作; (バニメータグ) 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.15~0.3g <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 雑) ・2回処理でのヒメギクに対する効果、薬害の確認(コウライシバ) ・倍量試験での確認 (コウライシバ、シバ、バニメータグ) 雑草 ・連用試験での確認 (コウライシバ、シバ、バニメータグ) 雑草 ・実証試験での確認 (コウライシバ、シバ、バニメータグ) 雑草 ・萌芽期薬害の確認 (コウライシバ、シバ、バニメータグ) 雑草 ・高温期薬害の確認 (コウライシバ、シバ、バニメータグ) 雑草 ・緑化木への影響の確認
	コウライシ バ	適用性 新規	植調研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 ヒメギク 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 1回目:ヒメギク 発生前、 2回目:ヒメギク 発生前~初期(芝生育期) 0.15g×2回 <200~300mL> 0.2g×2回 <200~300mL> 0.3g×2回 <200~300mL> 対) 一任		
	シバ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 J福岡 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任		
	バニメ ータグ ラス	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任		

A. 除草剤

注) ナグ-ライは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ↳は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
14. KUH-913 液 ビ・ス・リ・ハ・クナトリウム 塩:3% [ナシ/化学工業 *理研グループ]	コライソ ハ	適用性 新規	植調研 新中国G研 理研グループ	ねらい (3) 雑草生育期 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期、雑草生育期 0.5mL <100~200mL> 0.75mL <100~200mL> 1.0mL <100~200mL> 対) MCP液剤 0.75mL <150mL>	継	継) ・効果、薬害の確認 (コライソハ、リハ)
	リハ	適用性 新規	東日本G研 鹿島南薬科 新中国G研	ねらい (3) 雑草生育期 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期、雑草生育期 0.5mL <100~200mL> 0.75mL <100~200mL> 1.0mL <100~200mL> 対) MCP液剤 0.75mL <150mL>		
15. LNS-001 顆粒 水和 7メトキシフロシ:50% [エス・ディ・イー・エス・ハ イテック]	ケンタキ ブ・ル・グ ラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉ハ・ナカクGC 東日本G研 静岡G場協会	ねらい (4) 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(併) (北シハ) 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 (タワヅグ科) 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生 初期 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) グラフ・グラス水和剤 芝生育期 雑草生育 初期 0.3g <150mL~300mL>	実・継	[春夏作; (コライソハ、リハ、ハントグラス) 一年生広葉雑草、 多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草発生初期(3期期まで) ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作; (コライソハ) ヒメグ、ハスタ] ・雑草発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作; (ケンタキブ・ル・グラス、ハ・ミュー・グラス) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・農着剤加用 ・茎葉兼土壌処理
	ハ・ミュー グ・ラス	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 新中国G研 西日本G研	ねらい (3) 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(併) (北シハ) 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 (タワヅグ科) 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生 初期 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) グラフ・グラス DG 0.045g <200mL~250mL>		継) ・効果、薬害の確認 (ケンタキブ・ル・グラス、ハ・ミュー・グラス) ・連用薬害試験での確認 (ハントグラス、ケンタキブ・ル・グラス、ハ・ミュー・グラス) ・倍量薬害試験での確認 (コライソハ、リハ) ・実証試験での確認 (コライソハ、リハ、ハントグラス、 ケンタキブ・ル・グラス、ハ・ミュー・グラス) ・緑化木への影響の確認
	ケンタキ ブ・ル・グ ラス	倍量薬害 新規	東日本G研 静岡G場協会	ねらい (2) 倍量薬害 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 0.06g <200mL> 0.12g <400mL> 0.24g <800mL>		
	ハ・ミュー グ・ラス	倍量薬害 新規	埼玉スタジアム2002 J福岡	ねらい (2) 倍量薬害 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 0.06g <200mL> 0.12g <400mL> 0.24g <800mL>		

A. 除草剤

(注) フラグ-ラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
16. MBH-021 液 7シジノヒドリン :21.2% 【丸和イテキホ】	ソバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.015mL <100-200mL> 0.02mL <100-200mL> 0.03mL <100-200mL> 対) MCPP液剤 雑草生育期、芝生育期 0.5mL <200mL>	実・継	実) 【春夏作】(コライシバ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期 雑草生育期 ・0.015~0.03mL<200mL>/㎡ ・茎葉処理 【春夏作】(ソバ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期 雑草生育期 ・0.015~0.03mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 継) ・効果、薬害の確認(ソバ) ・倍量薬害での確認(コライシバ、ソバ) ・連用試験での確認(コライシバ、ソバ) ・実証試験での確認(コライシバ、ソバ) ・萌芽期薬害の確認(コライシバ、ソバ) ・高温期薬害の確認(コライシバ、ソバ) ・緑化木への影響の確認
17. MBH-024 フォーフ 新規化合物:39.6% 【丸和イテキホ】	コライシバ	作用性 新規	新中国G研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝休眠期、雑草発生前 0.05mL <200mL> 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 対) 一任	継	継) ・効果、薬害の確認 (コライシバ、ソバ)
	コライシバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝休眠期、雑草発生前 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 対) 一任		
	ソバ	作用性 新規	東日本G研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝休眠期、雑草発生前 0.05mL <200mL> 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 対) 一任		
	ソバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝休眠期、雑草発生前 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 対) 一任		
18. MCP-Na 液 MCPAナトリウム塩 :19.5% 【2,4D協議会】	ケンタッキ ブーグ ラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パナソニック 東日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理(全面茎葉処理) 芝生育期、広葉雑草生育期 1.5g(1.38mL) <200mL> 1.5g(1.38mL) <300mL> 2.0g(1.84mL) <200mL> 対) 慣行処理(一任)	実・継	実) 【春夏作】(ケンタッキブーグ)一年生広葉雑草、多年生広葉 雑草 ・芝生育期、雑草生育期 ・1.5~2.0g(1.38~1.84mL) <200~300mL>/㎡ ・茎葉処理 継) ・倍量薬害での確認(ケンタッキブーグ) ・連用試験での確認(ケンタッキブーグ) ・実証試験での確認(ケンタッキブーグ) ・高温期薬害の確認(ケンタッキブーグ) ・緑化木への影響の確認

A. 除草剤

注) アグラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		判定	判定内容
19. SB-201 乳 剤タイプ:25% 【ス・テ・イー・ヌ・ハ・イ ファク】	コライソ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 J福岡	(3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) アグライン 芝生前期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	実・継	[春夏作:(コライソハ)メシハ] ・芝生前期、雑草発生前 ・0.2~0.4mL<200-300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作:(ベントグラス)メシハ] ・芝生前期、雑草発生前 ・0.3~0.4mL<200-300mL>/㎡ ・土壌処理
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研	(3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) ベントグラス 芝生前期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL(2回処理) <200-300mL> 対) ベントグラス 芝生前期 雑草発生前 1.5g <200mL>	実・継	[春夏作:(ベントグラス)メシハ] ・芝生前期、雑草発生前 ・0.2mL<200-300mL>/㎡(2回) ・土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月程度を目安とする。 継) - 反復処理での効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ス・メシハに対する効果、薬害の確認(ベントグラス) ・効果、薬害の確認(コライソハ) ・連用試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 新規	<福島石川CC> 東日本G研 新中国G研	(3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) ス・メシハ 芝生前期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL(2回処理) <200-300mL> 0.3mL→0.3mL(2回処理) <200-300mL> 0.4mL(1回処理) <200-300mL>	実・継	[春夏作:(ベントグラス)メシハ] ・芝生前期、雑草発生前 ・0.2mL<200-300mL>/㎡(2回) ・土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月程度を目安とする。 継) - 反復処理での効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ス・メシハに対する効果、薬害の確認(ベントグラス) ・効果、薬害の確認(コライソハ) ・連用試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
20. SB-208 顆粒水 和 剤タイプ:70% 【ス・テ・イー・ヌ・ハ・イ ファク】	コライソ ハ	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 西日本G研	(3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) アグライン 芝生前期 雑草発生前 0.045g <200mL>	実・継	[春夏作:(コライソハ、メシハ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生前期 雑草発生前 ・0.03~0.05g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・樹木に薬液が付着すると、影響の出る樹種がある 継) ・多年生広葉雑草に対する効果の確認(コライソハ、メシハ) ・倍量薬害での確認(コライソハ、メシハ) ・連用試験での確認(コライソハ、メシハ) ・実証試験での確認(コライソハ、メシハ) ・萌芽期薬害の確認(コライソハ、メシハ) ・高温期薬害の確認(コライソハ、メシハ)
	メシハ	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 西日本G研	(3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) アグライン 芝生前期 雑草発生前 0.045g <200mL>	実・継	[春夏作:(コライソハ、メシハ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生前期 雑草発生前 ・0.03~0.05g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・樹木に薬液が付着すると、影響の出る樹種がある 継) ・多年生広葉雑草に対する効果の確認(コライソハ、メシハ) ・倍量薬害での確認(コライソハ、メシハ) ・連用試験での確認(コライソハ、メシハ) ・実証試験での確認(コライソハ、メシハ) ・萌芽期薬害の確認(コライソハ、メシハ) ・高温期薬害の確認(コライソハ、メシハ)
	コライソ ハ	適用薬害 継続	J埼玉 新中国G研	(2)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) アグライン 芝生前期 雑草発生前 0.05g <100-200mL>	実・継	[春夏作:(コライソハ、メシハ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生前期 雑草発生前 ・0.03~0.05g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・樹木に薬液が付着すると、影響の出る樹種がある 継) ・多年生広葉雑草に対する効果の確認(コライソハ、メシハ) ・倍量薬害での確認(コライソハ、メシハ) ・連用試験での確認(コライソハ、メシハ) ・実証試験での確認(コライソハ、メシハ) ・萌芽期薬害の確認(コライソハ、メシハ) ・高温期薬害の確認(コライソハ、メシハ)
	メシハ	適用薬害 継続	J埼玉 新中国G研	(2)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 対) アグライン 芝生前期 雑草発生前 0.05g <100-200mL>	実・継	[春夏作:(コライソハ、メシハ)一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生前期 雑草発生前 ・0.03~0.05g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・樹木に薬液が付着すると、影響の出る樹種がある 継) ・多年生広葉雑草に対する効果の確認(コライソハ、メシハ) ・倍量薬害での確認(コライソハ、メシハ) ・連用試験での確認(コライソハ、メシハ) ・実証試験での確認(コライソハ、メシハ) ・萌芽期薬害の確認(コライソハ、メシハ) ・高温期薬害の確認(コライソハ、メシハ)

A. 除草剤

注) アンドラライは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容	
21. SB-217 顆粒水和 トリアジフルオキサロン:30% アミナロリン:10% 【エス・ディー・エス・ハイ テック】	コウライソバ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡 (3)	ねらい	継	継) ・効果、薬害の確認 (コウライソバ、ソバ)	
				対象 雑草			雑草発生前 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他
				設計 薬量 (水量) /㎡			土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナハート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>
	コウライソバ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前初期 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 (水量) /㎡	茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生前初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) カーフ 芝生育期 雑草発生前初期 0.3g <200mL>		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナハート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>		
	ソバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナハート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>		
				設計 薬量 (水量) /㎡	茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生前初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) カーフ 芝生育期 雑草発生前初期 0.3g <200mL>		
ソバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前初期 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他			
			設計 薬量 (水量) /㎡	茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生前初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) カーフ 芝生育期 雑草発生前初期 0.3g <200mL>			
			設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナハート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>			
22. SB-325 フロアキサロン トリアジフルオキサロン (TPN) 53.0% 【エス・ディー・エス・ハイ テック】	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 J福岡 かごしま空港CC (4)	ねらい	実・継(実)	【コウライソバ、ベントグラス】薬類 ・芝生育期、薬類発生前 ・1~1.54mL<1000mL>/㎡ ・土壌処理 ・反復処理の場合は20日間隔 【(ベントグラス)薬類] ・芝生育期、薬類発生前初期 ・2.0~3.0mL<500mL>/㎡3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安 【(ベントグラス)コケ類] ・芝生育期、コケ類生育初期 ・2.0~3.0mL<500mL>/㎡3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安 継) ・薬類発生前初期処理(2~3mL/3回)での効果、薬害の確認 (ベントグラス) ・コケ類発生前初期処理(2~3mL/3回)での効果、薬害の確認 (ベントグラス) ・速用試験での確認 (ベントグラス) ・実証試験での確認 (ベントグラス) ・高温期薬害の確認 (ベントグラス)	
				対象 雑草			薬類発生前初期 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 薬類
				設計 薬量 (水量) /㎡			土壌処理 芝生育期 薬類発生前初期 2.0mL (3回処理) <500mL> 3.0mL (3回処理) <500mL> 対) アオキナドWDG 芝生育期 薬類発生前初期 2g (3回処理) <500mL>
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい	コケ生育初期 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 コケ類		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 コケ生育初期 2.0mL (3回処理) <500mL> 3.0mL (3回処理) <500mL> 対) カスリDF 芝生育期 コケ生育初期 0.045g (3回処理) <200mL>		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 薬類発生前初期 3mL <500mL> 6mL <1000mL> 12mL <2000mL>		
	ベントグ ラス	倍量薬害 継続	東日本G研 エス・ディー・エス・ハイ テック (2)	ねらい	倍量薬害 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 薬類発生前初期 3mL <500mL> 6mL <1000mL> 12mL <2000mL>		
				設計 薬量 (水量) /㎡	土壌処理 芝生育期 薬類発生前初期 3mL <500mL> 6mL <1000mL> 12mL <2000mL>		

A. 除草剤

注) ナグ-ライは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい	試験設計 等	判定	判定内容
23. SB-2092 粒 トリアシブラム:0.3% 7-メチルピリゾール:0.2% [エス・ティ・イー・ス・ハイ テック]	コライイ ハ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 10g, 15g, 20g 対) シバキープ II 芝生育期 雑草発生前 /㎡ 20g	継	継) ・効果、被害の確認(コライイハ、Jハ)
	コライイ ハ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 10g, 15g, 20g 対) シバキープ II 雑草発生前 /㎡ 20g		
	Jハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 10g, 15g, 20g 参) シバキープ II 芝生育期 雑草発生前 /㎡ 20g		
	Jハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡 (3)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 10g, 15g, 20g 参) シバキープ II 芝生育期 雑草発生前 /㎡ 20g		
24. SB-3651 顆粒 水和 トリクロロイソシアネートリル (TPN):50.0% チア(TMTD):30.0% [エス・ティ・イー・ス・ハイ テック]	コライイ ハ	適用性 継続	東日本G研 (1)	ねらい	雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 雑草 設計 薬量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 2g (3回) <500mL> 対) タコキープ-プロアブル /㎡ 芝生育期 雑草発生前 1mL (3回) <1000mL>	実・継	実) [(コライイハ) 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・2g<500mL>/㎡ 3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安 [(ベントグラス) 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・2g<500mL>/㎡ 2~3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安 継) ・効果、被害の確認(コライイハ) ・3回処理での年次変動の確認(ベントグラス) ・適用試験での確認(コライイハ、ベントグラス) ・実証試験での確認(コライイハ、ベントグラス) ・萌芽期被害の確認(コライイハ、ベントグラス)

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・維 の別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
25. SW-989 (L) 液 エントナーK塩:2.11% 【三井化学㈱】	ペント ラス	適用性 新規	◁福島石川CC> 東日本G研 関西G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生作物 - 一年生広葉 - 多年生作物 - 多年生広葉 - その他 スズメノカタビラ 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 シハ生育期:スズメノカタビラ生育期 ①2週間おき3回処理 1. 0mL×3回 <100mL> 1. 5mL×3回 <100mL> 2. 0mL×3回 <100mL> ②2週間おき6回処理 1. 0mL×6回 <100mL> 1. 5mL×6回 <100mL> 2. 0mL×6回 <100mL>	維	維) ・効果、薬害の確認 (ペントラス)
	ペント ラス	倍量薬害 新規	東日本G研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生作物 - 一年生広葉 - 多年生作物 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 シハ生育期:スズメノカタビラ生育期 ①2週間おき3回処理 2. 0mL×3回、4. 0mL×3回、 8. 0mL×3回 <100mL> ②2週間おき6回処理 2. 0mL×6回、4. 0mL×6回、 8. 0mL×6回 <100mL>		
26. 77コロシ 乳 77コロシ:43% 【*日産化学工業 理研㈱】	コライ ン	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生作物 - 一年生広葉 - 多年生作物 - 多年生広葉 - その他 ヒメジョオン 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、 ヒメジョオン発生前(1回目)→発生初期(2回目) 0. 6mL→0. 6mL <250mL> 0. 8mL→0. 8mL <250mL> 1. 0mL→1. 0mL <250mL> 対) 慣行処理(一任)	実・維 実)	[春夏作; (コライン、シハ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0. 6~1. 0mL <250mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作; (コライン) ヒメジョオン] ・芝生育期、雑草発生前 ・0. 6~1. 0mL <250mL>/㎡ 2回処理 ・土壌処理 注) 散布間隔は45~60日が目安 [春夏作; (ケンタキープ Ⅱ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0. 6~1. 0mL <200~300mL>/㎡ ・土壌処理
	ケンタキ ープ Ⅱ	適用性 新規	泉ハークルGC 東日本G研 埼玉G研 鹿島南薬科 静岡G場協会 新中国G研 (6)	ねらい 対象 雑草 一年生作物 全般 一年生広葉 全般 多年生作物 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0. 6mL <200~300mL> 0. 8mL <200~300mL> 1. 0mL <200~300mL> 対) ハークル顆粒水和 雑草発生前 0. 5g <250~300mL>	維)	・2回処理でのヒメジョオンに対する効果の確認(コライン) ・年次変動の確認(シハ、ケンタキープ Ⅱ) ・倍量薬害での確認(コライン、シハ、ケンタキープ Ⅱ) ・連用試験での確認(コライン、シハ、ケンタキープ Ⅱ) ・実証試験での確認(コライン、シハ、ケンタキープ Ⅱ) ・高温期薬害の確認(コライン、シハ、ケンタキープ Ⅱ) ・萌芽期薬害の確認(コライン、シハ)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		判定	判定内容
1. NPK-063 水和 700g/L:50% 【日本農業】	ベントグ ラス	適用性 継続	札幌国際CC 静岡G場協会 新中国G研 (3)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡	全面土壌処理 芝生生育期 0.025g <200~300mL> 0.05g <200~300mL> 0.075g <200~300mL>	実・継	<p>[春夏作; (コクイハ、ジバ)] 生育抑制効果による刈込軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生初期~盛期 (刈込約1週間前) ・0.2~0.4g<250~300mL>/㎡ ・土壌処理 ・芝生初期 ・0.025~0.075g<100~300mL>/㎡ ・土壌処理 <p>[春夏作; (ベントグ) 生育抑制効果による刈込軽減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生初期~盛期 (刈込約1週間前) ・0.1~0.2g<250~300mL>/㎡ ・土壌処理 ・芝生初期 ・0.0125~0.05g<250~300mL>/㎡ (注:高薬量を複数回散布すると濃緑化する場合がある) ・土壌処理 <p>[春夏作; (ベントグ) 生育抑制によるスチルビラ密度軽減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生初期、スチルビラ生育期 ・0.025~0.05g<100~300mL>/㎡ ・土壌処理 <p>[春夏作; (ベントグ) 生育抑制効果による刈込軽減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生初期 ・0.025~0.075g <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果、薬害の確認(ベントグ) ・低薬量反復処理での効果、薬害の確認(コクイハ、ジバ) ・低薬量(0.025~0.075g)での水量100mL/㎡処理についで年次変動の確認(コクイハ、ジバ) ・低薬量反復処理での薬害の確認(ベントグ) ・0.0125g/㎡処理での効果、薬害の確認(ベントグ)